

# エコ -Eco Mystery- ミステリー



## エコロジ探偵

「エコ」に関することをたくさん知っているよ



## スクワール助手

好奇心旺盛で「エコ」に関するいろいろなミステリーを見つけてくるよ

## ミステリーファイル⑥ / 災害時のおいしいごはん



※イラストはイメージです

### 探偵手帳

#### ライフライン事情

ライフラインとは、人が生活するために必要な設備やサービスのことで、電気・ガス・上下水道などを指す。災害が起こると、ライフラインが止まり、利用できなくなる場合がある。2011年の東日本大震災では、ほぼ復旧するまでに電気は6日、水道は24日、ガスは34日かかった。災害に備えて、3～7日ほどのたくわえが必要とされている。



#### かまど

なべやかまを乗せて、食べ物などを煮炊きするときに使う、土や石で作られた設備のこと。効率良く熱を利用できる仕組みになっている。古墳時代（約1800～1400年前）から使われ始め、炊飯器やガスコンロが登場するまで広く使われていた。現在ではバーベキュー場や、防災設備として公共施設などに設置されている。

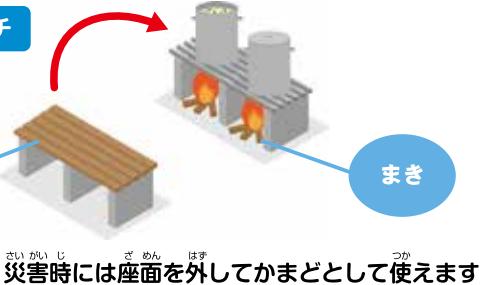


エコロジ探偵、大変です！ライフラインが止まっても、新聞紙を燃やすだけでおいしいごはんが作れる魔法のような道具があるそうです

まあ落ち着きなさい。まずは、おいしいごはんを作る方法を考えてみましょう。「かまどベンチ」というものを知っていますか

### かまどベンチ

PIXTA



座面

まき

災害時には座面を外してかまどとして使えます



知っています！公園などにある防災設備ですよね。確かに、かまどベンチで炊いたごはんはおいしかったです！

まきなどを使って強い火力で炊くことで、ごはんをおいしくできるのです



では、まきがないとおいしいごはんを作れないのでしょうか。新聞紙は燃やすとすぐ灰になってしまって、強い火力で炊けないですよね

それを解決したのがこの製品。「魔法のかまどごはん」です。新聞紙1部（3合なら36ページ分）でお米が炊けます



タイガーマジック瓶  
「魔法のかまどごはん」KMD-A100

\*屋内や火気の使用が禁止されている場所では使えない。



### 使い方

#### ①用意するもの

お米、水、新聞紙、着火ライター、軍手

#### ②お米を洗う

お米を洗い、お米の合数ぶんの水をなべに入れます。そのまま夏場は約30分以上、冬場は約40分以上、水に浸します。

#### ③新聞紙を準備

この時間を利用して、新聞紙をねじれた棒状にします。



#### ④焼き始め（はじめチョロチョロ）

最初は1分半間隔で新聞紙を左右交互に投入して着火ライターで火をつけます。



#### ⑤焼きあげ（なかパッパ）

1分間隔で新聞紙を左右交互に投入して火力をアップ。新聞紙の最後一枚を残して焼きあげます。



#### ⑥むらし・焼きあがり

焼きあげから10分後に最後の新聞紙を投入。余分な水分を飛ばします。さらに5分むらして、焼きあがりです。



エコロジ探偵、一つ問題がありました。ほとんどの家には新聞紙がありません…



問題ありません。新聞紙の代わりに牛乳パックを燃料にすることもできるのです



牛乳パックなら、リサイクルするために取ってあるので使えます！



この製品は、煮込みや湯沸かしができるので、いろいろな料理も作れます



災害時に温かくておいしいごはんが食べられると、少し元気になりますね